

日比谷アメニスグループが 提供する環境価値

私たち日比谷アメニスグループでは、持続可能な社会を実現するためにさまざまな活動を行っています。ここでは、活動が社会に提供している環境価値を樹木の植樹本数・緑地の管理面積・使用電力の再エネ率・紙の使用削減量として定量的に示す各種データをご紹介します。

1年間に植えた 樹木本数

造園施工の仕事では、都市にたくさんの木を植えています。みどりを増やすことで、都市環境の改善につなげています。

高木の
植樹本数

6,226本

中低木の
植樹本数

350,602本



私たちが行う工事で、1年間に植えた樹木の本数を集計しています。樹高3m以上を高木、樹高3m未満を中低木としています。(対象期間：2020年4月～2021年3月)



炭素固定量の算出に当たっては、アメニスグループにおける2020年4月～2021年3月の期間に植樹した高木類の総本数を基に、国総研(※2)緑化生態研究所「都市緑化樹木のCO₂固定量の算出」を引用、胸高直径9cm未満は便宜上9cmとして扱い計算を行いました。また、株立形状の樹木については、弊社の蓄積したデータを基に、樹高から胸高直径を算出する回帰式を用いて計算を行いました。

樹木の年間炭素固定量

日本人の家庭における年間CO₂排出量※1の
577人分にあたります。

1,063t/年

私たちが1年間に植えた樹木が固定するCO₂の総量です。公園の樹木や街路樹は、まちの景観をつくることはもちろん、炭素を固定することなどにより、生態系として私たちの生活や地球環境に様々な恵みをもたらしています。



※1 温室効果ガスインベントリ「日本の温室効果ガス排出量データ」より ※2 国土交通省 国土技術政策総合研究所 社会資本マネジメント研究センター <http://www.nilim.go.jp/lab/ddg/naiyo/co2/co2.html>

2021年度植樹本数

2020年4月～2021年3月の期間における、アメニスグループの工事で植樹した樹木の分類別上位10種です。

※ ◎印は東京都の在来種を表します。

分類別

分類	数量	単位
高木	6,226	本
中木	26,585	本
低木	324,017	株
地被	403,473	Pot
地被マット物	3,932.3	m ²
芝	49,361.2	m ²
種子	593.4	m ²
ヤシ	4	本
竹	94	本
観葉植物	3,136	本

高木 | 3.0 ≤ 樹高 < 5.0

分類	数量	単位
◎シラカシ	1,400	本
ソヨゴ	353	本
◎モチノキ	243	本
◎イロハモミジ	171	本
◎アラカシ	147	本
ヤマボウシ	139	本
シマトネリコ	104	本
マテバシイ	98	本
ナナミノキ	92	本
ハナミズキ	84	本

高木 | 5.0 ≤ 樹高 < 8.0

分類	数量	単位
◎シラカシ	393	本
シマトネリコ	71	本
◎カツラ	63	本
◎イロハモミジ	62	本
◎タブノキ	59	本
◎アラカシ	58	本
ナナミノキ	58	本
カナメモチ	53	本
◎ヤマボウシ	52	本
ソメイヨシノ	45	本

高木 | 8.0 ≤ 樹高

分類	数量	単位
◎シラカシ	173	本
アメリカフウ	54	本
◎ケヤキ	44	本
イチョウ	39	本
◎カツラ	29	本
◎タブノキ	24	本
ソメイヨシノ	18	本
クスノキ	17	本
センベルセコイア	15	本
ナナミノキ	15	本

中木

分類	数量	単位
ヒイラギモクセイ	9,603	本
レッドロビン	2,197	本
レイランディ	1,674	本
◎イヌマキ	1,445	本
◎マサキ	1,440	本
◎サワラ	1,243	本
ベニカナメモチ	1,096	本
◎シラカシ	640	本
ベニバトキワマンサク	619	本
ウバメガシ	614	本

低木

分類	数量	単位
ヒラドツツジ	37,012	株
オタフクナンテン	33,684	株
サツキツツジ	28,460	株
◎ハマヒサカキ	14,386	株
キンメツゲ	12,083	株
◎ヒサカキ	11,892	株
シャリンバイ	11,857	株
フィリアオキ	11,800	株
◎アセビ	11,657	株
ナンテン	10,152	株

地被

分類	数量	単位
◎キチジョウソウ	34,466	Pot
◎ヤブラン	32,052	Pot
フィリフェラオレア	22,489	Pot
◎リュウノヒゲ	17,474	Pot
ヤブコウジ	15,421	Pot
ヘデラヘリックス	14,825	Pot
オカメザサ	13,450	Pot
◎フィリヤブラン	13,137	Pot
ヘデラカナリエンシス	12,908	Pot
フッキソウ	12,183	Pot



都市公園やマンション・オフィスビル等の緑地管理面積から算出しています。(対象期間:2021年4月~2022年3月)

緑地の管理面積

東京ドーム220個分の面積にあたります。

都市公園やマンション・オフィスビル等の豊かで快適なみどりを育むことで、魅力ある環境を生みだしています。これらを通じ地域社会や生物多様性に貢献しています。

1028 ha



みどりの価値の享受人数

当社が管理運営する公園の利用者数1837万人
緑地を管理するマンションの総戸数13万3千戸

みどりがあることで、その空間を使う人たちは、環境、暮らし・安全や活力など様々な価値を受け取っています。

1,877万人



管理運営に携わる公園等の2021年度の年間利用者数とマンション居住者の想定数(住戸数×3人として算出)を集計しています。(対象期間:2021年4月~2022年3月)



日比谷アメニスグループが管理している都市公園やマンション、オフィスビル等の緑地において、植物や昆虫、鳥類などの生きものに関する記録や調査、保全活動等を行っている案件を集計しています。(2022年7月時点)

生きもの調査の取り組み件数

豊かなみどりの空間には、そのみどりを住処にする様々な生き物が集まってきます。

生きもの調査から得られた生物多様性の状況をそこに係る人たちと共有することは、さらに多様な生きもの達が生息する環境を生みだす活動へと繋がっていきます。

44件



前年度からの紙の使用削減量

今年度の紙の使用量 1,350,770 枚
(前年度から1.8%削減)

オフィスにおけるペーパーレスの取り組みを継続し、紙の使用量を削減することができました。事務的な業務についても、環境貢献度を高める取り組みを推進しています。

24,673枚



2021年4月~2022年3月を今年度、2020年4月~2021年3月を前年度とし、日比谷アメニスグループ各事業所内のコピー機の印刷枚数カウンター数量を集計しています。

